News Release



2020年6月18日

「Microsoft Teams」上で オフィスの電話番号を利用したテレワークを実現する 「Direct Calling for Microsoft Teams」新機能の提供を開始

NTT コミュニケーションズ株式会社 (以下 NTT Com)は、テレワークに対応した電話環境を実現する手段として、「Microsoft Teams」からの外線通話を実現するサービス「Direct Calling for Microsoft Teams」(以下 Direct Calling)において、「Arcstar IP Voice 番号通知機能」(以下 本機能)の提供を、2020年7月末に開始します。

「Direct Calling」は、「Microsoft Teams」から 050 番号を使った電話の発着信を可能にするサービスです。このたびの機能追加では、企業向け IP 電話サービス「Arcstar IP Voice (以下 IP Voice)」と「Direct Calling」を合わせてご利用いただくことで、「IP Voice」で利用する 03 や 06 などで始まる電話番号を相手先に通知することが可能になります。

本機能を利用することで、オフィスで利用中の電話番号をテレワークによる在宅勤務時にも 利用することができます。

1. 背景

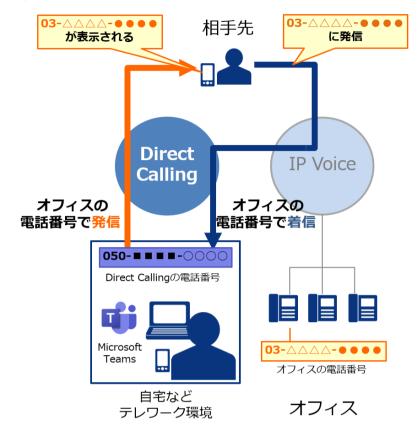
自然災害やパンデミックへの対策としてテレワークの普及が進む一方、「テレワーク時にオフィスワークと同じ電話番号を利用できない」、「オフィスワークとテレワークを柔軟に切り替えることができない」といった点がテレワーク導入の課題となっているケースがあります。NTT Com は、本機能の提供によりこれらの課題を解決し、災害発生時の BCP や、ウィズコロナ・アフターコロナの働き方に貢献します。

2. 本機能の概要

「Direct Calling」から外線を発信する際、相手先にオフィスの電話番号を通知することができます。「IP Voice」で使用している 03 や 06 などで始まるオフィスの電話番号の中から、通知用の番号をあらかじめ登録しておくことで利用できます。

また、「IP Voice」側で「Direct Calling」への転送設定を行うことにより、オフィスの電話番号にかかってきた電話を、「Direct Calling」で着信することもできます。

く提供イメージ>



3. 利用シーン

(1) 在宅勤務でも、代表電話番号などで発着信可能なソリューションとして

オフィスで利用中の電話番号をテレワーク環境でそのまま利用することができます。 Web や広告、名刺などで周知してきた電話番号を変える必要がありません。

また、「Microsoft Teams」のアプリをインストールすることで、個人のスマートフォンからも固定電話の番号による発着信が可能になります。通話料は会社への請求となるため、社員に負担をかけることがなく、テレワークに伴う経費精算の手間もありません。

(2) 有事の際、迅速にテレワークに移行できる BCP 対策として

普段はオフィスに出勤し、固定電話機を使って業務を行っている場合にも、突発的な災害でオフィスの利用や通勤が困難になった場合などに、速やかにテレワークへ移行することができます。

あらかじめオフィスの電話番号を「Direct Calling」の発信番号として登録しておき、有事の際には、オフィスにかかってきた電話を「Direct Calling」に転送する設定を行うことでテレワークに切り替えることができます。転送の設定はポータルサイトで簡単に行うことができ、PBX*の工事など時間がかかる作業は不要です。

4. 提供開始日

2020年7月末(予定)

5. 利用料金

本機能の利用料金は無料です。

- ・「Direct Calling」の利用料金 1ID あたり月額 300 円(税抜)、および通話料金がかかります。また、「Direct Calling」の利用にあたっては、「Microsoft Teams」の契約が必要です。詳しくは「Direct Calling」の Web サイトをご参照ください。
- ・別途「IP Voice」の利用料金が必要です。

※: PBX とは、企業の構内(拠点内)に設置された電話交換機(Private Branch Exchange) のことです。 外線・内線の発着信、代表電話番号への着信、転送などの機能を持ちます。